

●講談を初めて拝見しましたが、なかなか良いですね。また来たいと思います。皆さん頑張ってください。

(名無しさん)

●講談を聞き始めてまだ2ヶ月足らずの初心者です。「なでしこくらぶ」でこれから勉強させていただきます。アットホームな雰囲気がいい感じ。平日に寄席へ伺うのは、仕事の都合で中々難しいのですが、少しでも多く伺えるようにしたいと考えています。土日の講演を増やしてもらえませんか？みなさん応援していますので、頑張ってください。特に、前座の皆さん頑張ってください。

(横浜市・渡辺 充)

●「なでしこくらぶ」のみなさん、聴きに行く度に芸が深まっていくのに感心しています。日々ご研鑽の様子が目に浮かびます。わたし(昭和8年生まれ)が子供の頃は、講談、落語、浪曲の全盛期で、寄席、演芸場があちこちにあり、少年講談、落語全集などが良く売れ、厠で虎造の次郎長伝などをうなったりする大人が沢山いました。一時は、講談界も厳しい状況でしたが、皆さん頑張っていて、ことに「なでしこくらぶ」をはじめ、女性講師の方々のご活躍は、心強い限りです。売れようと売れまいと芸の道に生きる人は輝いています。つい、惚れ込んで応援したくなります。テレビにのさばる無芸のタレントなど糞喰らえ！ただ講談の世界も、一方で伝統の話芸継承、その一方で新しい講談(巷談)ネタを仕込んで若いファンを引き付けることが必要でしょう。伝統のネタでも新ネタでも、ただ面白おかしくというのではなく、登場人物の人間が生き生きと描ければ感動します。わたしは、現在は横浜在住で東京へ出るのはしんどいのですが、生まれは浅草の対岸の向島、錦糸町の学校に通ったので、上野、両国という、つい足が向いてしまいます。「永谷」の皆さんのご尽力にも敬服しています。「なでしこくらぶ」の健闘を祈ります。今後とも楽しませてください。

(横浜市・長谷川洋)

●「この道より 我を生かす道なし この道を歩く」武者小路実篤の言葉です。生涯を賭けられる道に出会えた人は幸せです。「なでしこくらぶ」は幸せ集団。毎回、一所懸命、謙虚に真剣に高座に取り組んでおられる。そして高座を楽しんでおられる。その姿に、私は感化されます。「自分も出来ることを精一杯やろう！」決意を新たに毎回会場を後にします。こんなに地味で派手やかな、可憐で力強い演芸はそうざらにはありませんね。どうかみなさん、これからも高らかに張り扇をたたき続けて下さい！

(鴻巣市・ポール)

●平成18年1月18日(水)曇。寒い一日。両国亭へ。13時5分前に到着。受付が一龍齋寿さん。会計払って記名記帳。開演一番がゆずさん。貫一お宮熱海梅園から、海岸月夜の場面。貞寿さんの一心太助血割の件。あやめさんの秋色桜・・・お仲入りの処で、なでしこくらぶ一同より、御招待券をいただく。10回参加の景品との事。

(文京区・岡本猛治)

●なでしこくらぶのみなさん今日は。なでしこ劇場の幕開きですね。今日は50人を超す客入りと喜色満面のすみれ師匠、おめでとうございます。日頃の努力に成果と思います。なんともいえぬ雰囲気毎月の第3水曜日が待ち遠しくなります。益々いろいろな面でフワンの交流を深めてください。私は元来浪曲フワンでしたが、ふとしたきっかけで講談を聞き、今は大の講談フワンになってしまいました。一人二人と友も出来ました。誰彼のフワンでなく、皆さんのフワンとして応援していきたいと思ひます。琴柑

の一際大きな張扇の音。ゆずの一寸遠慮がちな語り。若干余裕を見せ始めたあやめ、貞寿。二つ目として講釈師の貫禄を見せ始めた一邑、織音、一凛。俗に二つ目から真打になる最後の時が、一番聞き応えがあると聞いております。心に沁みる講談を聞かせて真打に昇段してください。楽しみにしております。さて、大勢のお弟子さんを抱え、真打は大変よと飴と鞭で芸の真髄を追求するすみれ師匠、大変ですね。なでしこくらぶ宜しく頑張ってください。

(所沢市・伊東芳雄)

●要望：来場節目の回数の記念品「手拭い」を！

(春日部市・若林賢二)

●なでしこ新聞発行お慶び申し上げます。なでしこメンバーの皆様は、日々の勉強ご努力が昼夜常精進で、お休みなくご多忙のことと推察申し上げます。さて、昭和30年頃職場の7、8人で木更津に行った時、お富と三郎のお墓へ行きました。名前だけは知っていたから、その後、行った時には境内もお堂も立派になり、無断ではお参りでも入り難い様子になりました。「なでしこくらぶ」のお陰で、やっと80歳になってから物語を知りました。以下、神経科の先生の長寿の原則を「なでしこくらぶ」に当てはめます。①歴史と文化の散歩ラリー→体が丈夫でも脚が弱って活動できない、朝夕30分の散歩を！②なでしこくらぶ鑑賞→ほほえむこと。人生一番の無駄は笑いのない人生、世の為にならずに徒に年をとっても意味がない。

(中央区・匿名希望)

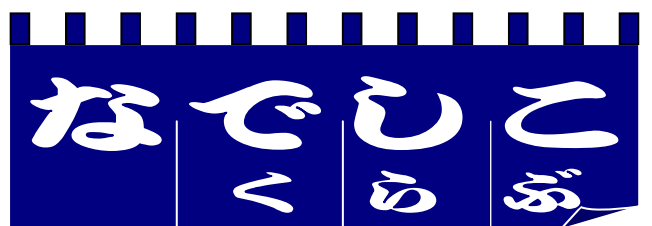
●「なでしこくらぶ」は、これまでの努力が実りつつ結果が出始めているのではないのでしょうか。ご苦労が多いと思いますが、ここが踏ん張りどころだと思います。皆さんが一致協力して頑張ってください。新聞発行は『講談研究』の休刊など寂しいニュースが多い中、明るい話題で、講談ファンの一人として「交流活発化の新聞発行」は大歓迎です。このような投稿など皆さんの知恵を出し合って、より良く長く続けられるよう頑張ってください。折角の機会ですから講談の繁栄について素人なりの感想を一言申し上げますと、一番大切なことは「講談界の結束と協力」が何よりと思います。テレビで馬鹿笑いさせているだけの芸能は、一過性で飽きがきて将来は無いと思います。古典物・新作物と地道着実に進めると、皆が目を向けてくれて道は開けるのではないかと考えます。その一つとして、インターネットの活用によるPRを活発にやってみては如何かと考えます。現在の「パパンのホームページ」でも、皆さんからのアクセス回数を増やしていくため、おしゃべり広場(掲示板)などの記入回数を増やすことが大切だと思います。講談開催日時の変更などは確実に速やかに変更する。アクセス回数が増えれば、インターネットに参加してきて講談を聴く人も参加してくるのではないかと思います。また携帯電話の情報提供対応も検討しては如何でしょうか。

(豊島区・澤田栄一)

●「なでしこが 花咲くごとく 乙女らも 可憐で素敵な 両国の華」

(市川市・MTさん)

なでしこ新聞のみなさんへ
なでしこ新聞のみなさんへ



★「なでしこくらぶ」は毎月第3水曜日お江戸両国亭にて午後1時より開催しています。